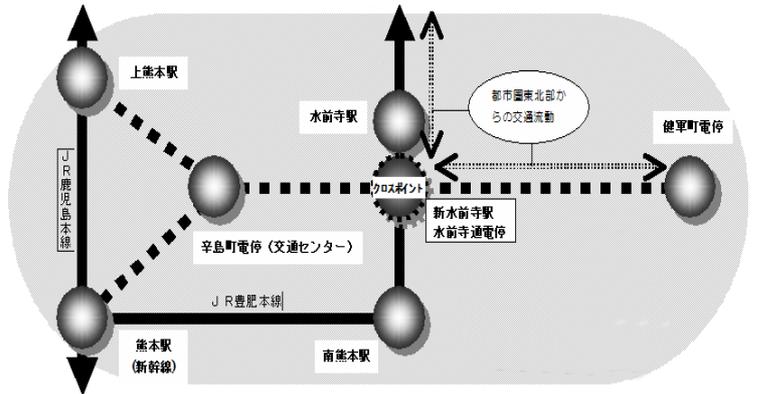


新水前寺駅地区交通結節点改善事業

1. 事業の位置づけ

- ◆平成13年5月 都市交通マスタープランで提案される。
- ◆平成15年6月 「熊本都市圏都市交通アクションプログラム」で8軸公共交通網の機能強化として、**中期A**（概ね10年後の九州新幹線全線開業までに成果が見えるもの）となる。

新水前寺駅周辺地区は、JR豊肥本線と熊本市電、路線バスの結節点、(クロスポイント)であり、都市圏東北部からの交通流動を自動車交通と公共交通に適切に分担させるための『交通結節機能強化』を図る箇所として位置づけています。

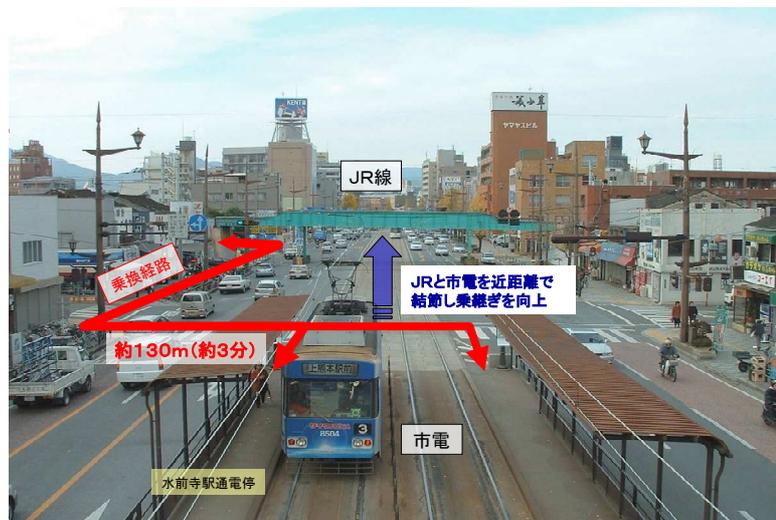


2. 経緯と予定

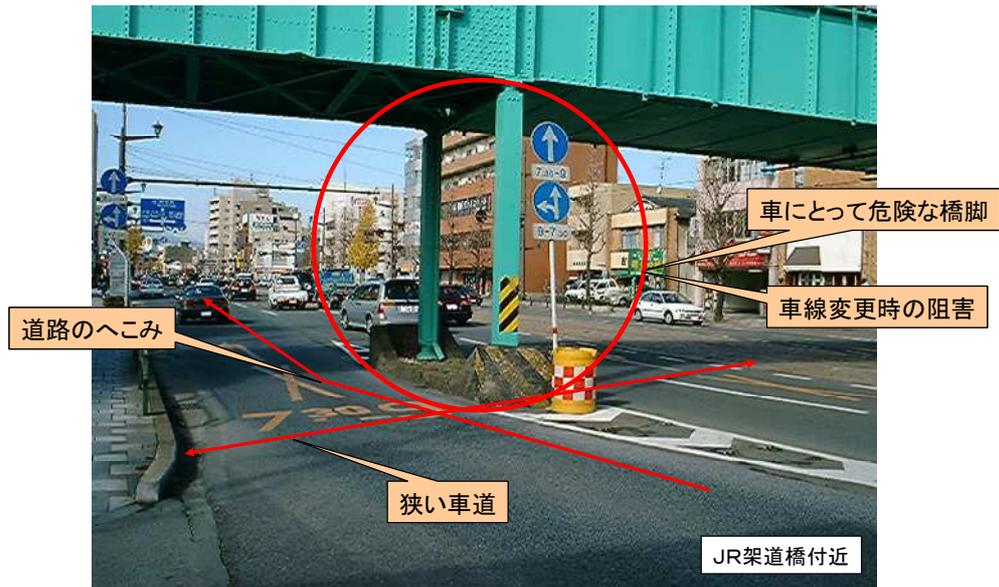
- ◆平成18年度 都市計画変更決定
- ◆平成19年度 工事着手
- ◆平成20年度 7月に仮駅舎切り替え
- ◆平成23年度 4月に新駅舎、新電停で供用開始

3. 事業の目的

①公共交通の結節強化（乗継ぎ利便性向上）



②県道熊本高森線の走行性の向上



③生活環境の改善（駐輪場の整備）



3. 事業概要

◆JR 架道橋の架け替え〔熊本県事業〕

老朽化したJR橋の架替えにより、県道高森線の車道上の橋脚を撤去し、通行安全と交通渋滞緩和を図る。

◆ペDESTリアンデッキの設置〔熊本県事業〕

JR 駅、市電電停及び県道歩道の直結や歩道部にエレベータ設置（2基）など利便性を向上させる。

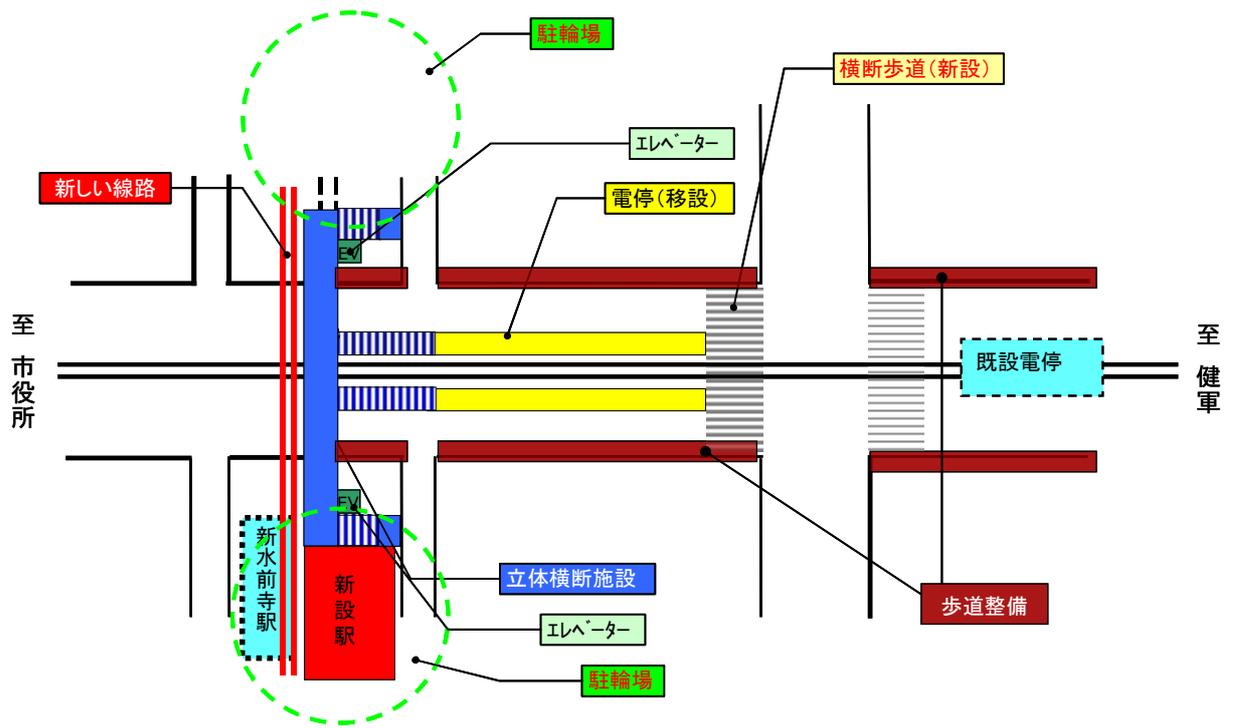
◆市電「水前寺駅通」電停の移設〔熊本市事業〕

新水前寺駅と電停が約100m 離れており、接近させて乗換え時間を短縮する。

◆自転車駐輪場の整備〔熊本市事業〕

周辺施設利用者のための700 台程度の駐輪場を確保し、良好な歩行者空間を確保する。

○事業概要図



○完成イメージ図

